第7回JCカップU－11少年少女サッカー全国大会県予選大会事前アンケート結果

この度は「第7回JCカップU－11少年少女サッカー全国大会県予選大会」にご応募いただき誠にありがとうございます。本大会ではスポーツを通じて子どもたちの心身の成長を目指すと共に、保護者含め関係者皆様方には子ども達との関わりについて改めて考えていただく機会になることを願っています。つきましては選考基準として、以下のアンケートにご回答いただきますようお願い申し上げます。

問1．　普段お子様と接する際、どのようなことを心がけていますか？

・一人の人間として対等に関わる。
・子供の意思や個性を尊重する
・子どもの立場に立ち、子どもの気持ちに寄り添い、目と心を合わせ話をする。
・本人に意見、気持ちのありのままを受け止め、一緒に悩んで考える
・親の考え、価値観を押し付けず、自分で考えさせ、主体的に行動できるようにする
・とにかく子供の話を聞く。忙しくても食事の時など一日の中でそのような機会を設けている。
・明るく楽しく接し、なんでも話し合えるような雰囲気づくりをしている
・善悪の判断がつけられるよう促し、誤っているときはきちんと律する
・特段心がけていない。ありのままの気持ちで接している
・やりたいことにはチャレンジさせながら見守る
・否定的な言葉は使わず、ポジティブな言葉がけをする
・子どもの良いところ、良い言動を具体的に褒める
・自分の弱いところや自己成長のため何をすればよいかを考えられるような人間となれる言葉
・あいさつ等、よき手本になれるようにしている
・大切なことはわかりやすくしっかり伝えるようにしている
・　指示や命令は避けて、本人の気持ちやなぜそうしたのかなどをまず、聞くように心がけています。
・自己肯定感を高めてほしいので否定はあまりしない
・笑顔・思いやり・感謝を忘れないように
・対話の中で、表情の変化や心の機微を見逃さないようにしている。
・他の子と比べない
・気持ちの切り替えを把握できるよう心掛けている
・サッカーだけでなく勉強も大事
・子どものやる気をなくさないように（性格に合わせ）やさしく接すること。
・サッカーについては良かった点だけを聞く
・達成感を経験できるよう、頑張る機会を増やすことを心掛けている
・食事や睡眠の生活リズムを崩さないようにしている
・思春期に入った今は人前で怒らず、二人きりの時に伝えるようにしている
・愚痴や悪口を言わせない、聞かせない
・責任感をもたせる
・体調が大丈夫かどうか気にかける
・自分らしさを失わないでほしいので、なるべく受け入れたうえで意見を伝える
・子供と同じことをする
・なるべく子供に考えさせ、すぐに答えを与えない
・叱るときも長く怒らない
・子どもという枠にはめず一人の「人」として接するように心がけています。
・わかりやすい言葉でゆっくり話す
・過干渉にならぬよう見守りつつも、ここぞというときは厳しく接する
・やりたい意思を尊重、サポートする
・勉強もスポーツも押し付けないようにする
・子供たちがやる気が出るような声掛けを心がけています
・兄弟平等に接する
・今日という日は、二度と来ないので、1日1日を大切に過ごす。
・他愛もない会話から悩みを聞くなどコミュニケーションを大切にしている
・前向きにがんばれるように
・勉強、スポーツ、遊びなどダラダラせずメリハリをつけさせる
・子供にとって心のより所になるように
・何事もあきらめず続ける
・一緒に笑い、悔しがり、共感しながら意見を交わしあう
・ながらで接することがないようにしている。特にスマホを見ながらはしない
・プレーに対して、あまり言わない。
・考え方や周りの人との関わり方を理解する。
・励ます言葉をかける
・中途半端にならないようにしています。心がけはそうであります…。
・不安にならない様に声かけする。
・自信を持って楽しく自ら行動できるように声を掛ける
・子供がどんな事を言っても、一度は受け入れる。
・話を聞き、良い事をほめる。悪い事は何故そうしたのかと話を聞いてから、注意・アドバイスをする
・言葉使いを気を付ける。威圧的、感情的にならぬよう言葉がけをしている
・人格否定をするような言葉は使わない
・本人が本当に楽しい、好きという気持ちを大切にする。

問2．練習や大会等へ送り出す際に、お子様にどのような言葉をかけていますか？

・悔いのないよう自分の力を出し切れるよう全力でやりなさい
・反省や目標を何にするか考えさせるような言葉をかけている
・コーチの話をよく聞き、教えをよく考えながらプレーに活かすよう伝えている
・チームメイトを信じて、出来る限りの力を発揮して頑張ってきてね
・けがをしないように！
・思い切り楽しんでサッカーをするよう伝える
・チームメートと仲良く、楽しく頑張ること
・挨拶・話を聞く態度をしっかりすること
・最後のあいさつや片付けまでしっかり集中する
・自分の物の管理をしっかりとする
・結果じゃなく、自分のできることを一生懸命、全力で取り組むこと
・自身の目標や課題についての再確認を行う。目標を口に出させイメージさせる
・「やるかやらないか」「チャレンジ＆エラー」
・チームプレーの大切さ、声を掛け合うこと
・失敗してもいいから常に全力でプレーしなさい。
・人の話を聞き、他人のプレイを見て学ぶこと。上手い人のまねをしてみる
・気持ちが大切だよ
・暗い言葉はかけず、明るい言葉をかけ送りだします。
・仲間のアドバイスを受け止める
・
・「頑張ってね」よりも「楽しんでね」ということに重きを置いています。
・なるべく緊張しないような声掛け。プレッシャーをかけず、明るく送り出す
・成功体験を例にあげ、練習時の努力は成長へつながる事を伝える。
・大会は、勝敗のみでなく練習成果の確認とステップアップの為の課題確認の場だと伝えている。
・試合前は不安や緊張があるので、気分が盛り上がる雰囲気や以前出来て良かった事などを話す。
・まわりと比べるのではなく、自分に今足りないことを意識するよう伝えています。
・練習したことや反省点を思い出してプレーしてね
・失敗してもいいからまず自信を持って行動に移してみる事
・「一個でもできることが増えるといいね」「少しずつでも強くなるよ」
・全力でやる。全力でやらないとかっこ悪い。相手に失礼。楽しむこと！
・前向きに気持ちが持って行けるように、あなたならやれる！みんなでがんばれ！と言ってます。
・1人で頑張るのではなく、チームのみんなで頑張っておいで！と言う事が多いです。
・相手がいないと試合はできない、相手をリスペクトして楽しんでおいでと対戦相手を尊重する声かけ
・ミスを恐れず、積極的にチャレンジできるような言葉をかけるようにしています。
・自分の役割を考えながらサッカーをする。チームのために何ができるのか考えてプレーする
・ダラダラしない
　朝は、今日の目標を決めてあなたならできるとポジティブな言葉をかけている
　試合に出てなくてもチームの代表だということを忘れないでと伝えています。
・頑張れと言わない
・コーチ頂いたアドバイスや良かった点を振り返る
・周りのことも気に掛けるように
・ミスをしても励まし、戦意をなくさないようにする
・人任せではなく自分のポジションに責任を持つこと
・優勝したければ相手よりも走れ
・子どもと一緒に「頑張るぞー！おー！」とやり奮起させる
・子どもの素直な感情に寄り添うだけにしておく
・相手のミスを責めるのではなく、励ます言葉をかけよう
・目標を具体的に設定し、どうすればクリアできるかを考える
・やらなきゃ失敗もわからないからとりあえずやってみて、自信もってね！
・言葉はかけず普段通りを心掛けている
・上手い人のまねをしてみよう
・自分だけのプレーにならないように
・みんなより先に動きなさい
・自分たちのサッカーを出来るように、楽しんで！
・沢山ボールに触れること
・出かける前にバタバタしていたら、気持ち切り替えて。と伝えます。

問3．お子様が落ち込んでいたり、悩みを抱えている際、どのような言葉・会話を心がけていますか？

○ 子どもの話を傾聴する

・まず最後まで子供の話を聞く
・大人の方から一方的に話さない
・答えを言うのではなく、一緒に考えて、問題を解決できる具体的な案を出せるよう、サポート役に徹する。
・子どもの変化に早く気づき、問題解決を早い段階でできる様よく話を聞いている。
・子どもの目線に立って子どもの話を聞く
・子供の意見を無視しない。否定しないで受け止める
・楽しく会話を出来る状況を作り、よく話を聞くことを心がけている。
・内容をよく聞いて子どもの思うことを一緒に話し、アドバイスをしてあげる。
・考えを否定せず、自分の言葉で考えを述べられるように促している
・話をしてくれたら、まず受けとめ「大変だね」と言葉で共感する
・子どもの気持ちをくみ、共感するようにする
・共感しながら親自身の思いを伝える
・話したくなったら話して欲しいと思う。無理には聞きません。

○ 話をしやすい環境づくり

・悩みを伝えやすい、自ら話しやすい環境作り
・話の聞き方、姿勢として、対面になるのではなく、横に並ぶように聞くようにしています。
・いいたい事を言える環境にする。
・お風呂などに入らせ、リラックスした状態で話を聞く
・子供から言える雰囲気をつくりだし、子どもから言ってきたときは、しっかりきいてあげる
・どうしたの？と声掛けし、悩みを聞いてあげる
・何かあった？と気づいていることを表す
・相づちを打ちながらよく聞く
・抱きしめる。
・いつも通り、変わらずに接する
・言いたくなさそうでも、聞いてしまいます。その時は真剣に聞きます。
・落ちつくまで声をかけない。落ちついた頃に様子を見て声をかける。

○ 会話のポイント

・前向きになれるような言葉、ポジティブな単語での声掛け
・表情、様子を見て会話をする
・安易な発言はしないよう、心掛けている。
・原因を調べ、それに対して前向きに取り組んでいけるような言葉をかける
・子供が自分の言葉で発言できるように質問形式
・正論だけを言わない
・自分の体験談などをまじえるなどして、成長につながるような会話
・「今はどんな気持ち？」など自分を客観視できるように声掛けをする
・否定しないで聞き、良い悪いのジャッジをしない
・自然に話せるよう、二人きりになるようにしている
・落ち込んでいるときは責めない
・とにかく話を聞き、無理に励まさない
・自分の言葉で自分の考えを説明してもらう。言葉が出ないときはヒントとなる言葉を与えてみる
・結果をオーバーに話し合う
・一緒に悩んだ後、励ましながら、こちらの考えを提示する
・落ち込まないよう優しく会話することもあり、わがままを言っている様な時は注意することもある。
・考えることができてすごいね。良い経験をしたと思うよとポジティブな言葉に変換する
・ひとりで悩まないで何でも話して欲しいと伝える
・話しやすい言葉遣いで接している
・良いと感じたこと言動は具体的に褒める

○ 解決へむけてのアドバイス

・自分に似た体験があれば話したり、解決するためにー緒に考える
・失敗してもいいんだよ！落ち込むことも悪いことではないと伝える
・失敗が成功のもと！いっぱい失敗して強くなるようと説く
・良い時ばかりではないから、切り替えて！気にしすぎないように声掛け
・白黒つけすぎず、正解にこだわりすぎず、気持ちによりそって解決をー緒に考えていきたい
・自分の考えを話し、どうすればいいかなど話してもらう。
・気持ちがやわらぐ言葉を探して声掛けするようにしています。
・必要以上に口出ししないようにしている　だが本音を聞き出せるように心がけています
・解決策のヒントを出してみる
・謝る事や仲直りをすればもっと絆が深まることを伝える
・何があったのかをまず聞いて、なぜ相手がそうするのかトラブルの相手の気持ちも考えさせる
・一人ではないということ、理解者がいることを伝える
・家族は味方だということも伝えます。
・我が子は一番の宝物。何があっても味方だし、一人で悩む必要がないことを伝える
・そばにいるよ、一緒に乗りこえよう。ずっとサポートするよ。
・自信を持たせるようにする、劣等感をなくせるように心がける
・頑張れ！と応援する
・一人で考えるだけじゃなく、みんなを（周りを）たよりなさい
・何が悩みだったのか、それをどう改善していくか
・自分で考えることができるよう「どうして」「どうすれば」「どうしたいか」と子供の気持ちを聞くようにする
・無理せずコツコツとやっていれば必ず良いことが返ってくる
・乗り越えられない試練は無い。必ず出来る大丈夫、なんとかなる
・誰にでもうまくいかないことはあるので、その経験をバネにしてを次の成長の糧にしてほしい
・落ち込む＝やれるだけのことをできたか？考えるよう促す。
・サッカーが好きか確認する
・負けた時はそっとしておくことも一番だったりする
・人は人、自分は自分。人と違ってもいいから、自分なりの答えをみつけるよう促す
・自分がされて嫌なことは相手にもしないようにさせている
・負けて悔しいと思えることは次に生かせることと伝えている
・次につながるように話す。次は失敗しないよう準備を促す
・良い事も必ずおきるよという
・悔しいと思えることは上手になるための一歩だよ

問4．大会を通じて、子ども達にはどのようなことを学んでほしいですか？

○ 精神的な成長

・グッドルーザーの精神/フェアプレーの精神
・協調性、優しさ
・向上心、負けた悔しさをバネに努力する事。
・挨拶・礼儀　負けた時こそ挨拶はしっかりと
・スポーツマンシップの大切さを学んで欲しいです
・リーダーシップ
・自主性、自立心
・社会性
・自分に自信をもつこと
・闘争心、強い気持ちで向かうこと
・諦めない気持ち　強いチームに気持ちで負けない精神力
・コミュニケーション、スポーツマンとしての人への接し方
・集団生活の規律・観察力・忍耐力・礼儀と尊敬の心を学んでほしい
・責任感（ポジションや仲間に対して自分のやるべきこと、責務を全うすること）
・自分で考えて行動できる判断力や決断力
・自己主張
・自分にも打ち勝つ事
・勝利へのハングリー精神と負けた時は相手の強さを認めること
・ほめる、助ける等、人としての成長
・数年後の自分がどのようになっていたいのかをイメージする

○ 仲間や相手への敬意

相手チーム、自分のチームの仲間を認め思いやり、自分の力も思う存分発揮できる経験を積んでほしい
仲間、相手、お互いにリスペクトし、尊重しあえるようになってほしい
・仲間、コーチとの信頼関係
・夢や目標に向かって、仲間と頑張ることの大切さ
・チームのみんなと同じ思いを通じて成長してほしい。
・連帯感
・仲間との絆の大切さ、一人では何もできないので（チームワーク、友情、思いやり）
・チームメイトとの人間関係
・他チームとの交流
・仲間が共にいるから自分が最高のパフォーマンスを出せるといった部分など。
・様々な地域の同年代の子供達が、サッカーを通して切磋琢磨している事。
・サッカーは仲間や相手がいないとできない。サッカーに関わる全ての人に敬意を払って欲しい。

○ 試合やサッカーに関して

・勝つ喜び・負ける悔しさを感じてほしい
・サッカーを好きになってほしい
・勝っても負けても学ぶこと、成長のためのヒントがあること
・練習の大切さ
・全力を尽くし、試合を楽しむこと　達成感を味わうこと
・本番に強くなる。メンタルの強さ
・勝負の喜怒哀楽
・感動や喜び、悔しさを仲間と共有できることに感謝する心を持ってほしい
・どんな結果でも悔いの残らない試合をしてほしい
・コロナ禍において、大会に参加できることのありがたさ、決してあたり前ではないことを感じてもらいたい
・全力でプレーして負けても成長のチャンスと捉え挑戦してほしい
・強いチームは「どこが」優れているのか、良いところはどこか子供たち自身で考えようとしてほしい
・勝つためにどうするか、負けた時に何が足りなかったか考え、次につなげてほしい。
・他チームの良い所を見付け、それを自分に吸収し活かしてもらいたい。
・仲間同士でどのようにしていけばいいのか話し合いをし頑張っていくことを感じ、学んでほしい
・もっとできることはなかったか、自分で自分に向き合うことを学んでほしい
・負けた時でも良いプレーがあったこと、勝った時でも反省点や課題があること
・チャレンジして失敗しても、継続してやり続けてほしい
・失敗は成功への近道。失敗をこわがらないでほしい。
・勝敗にこだわらず、全力で取り組む事の大切さを更に分かって欲しいです。
・勝負の厳しさ
・技術を学んでほしい
・様々なことにチャレンジして失敗した時の悔しさ、成功した時の喜びを実感してほしい。
・ワンチームで結果を出すことに向けてのプロセス
・目的、目標を持ってプレーする事　普段の生活にも活かしてほしい
・自分達に何が不足しているか見つけてほしい
・努力の大切さ、努力は結果として返ってくることを学んで欲しい
・格上相手にどこまで通用するのか肌で感じてほしい

問5．「グッドルーザーの精神」についてご存知ですか？

問6．お子様にグッドルーザーの精神が定着していると感じますか？

○ 感じる/徐々に定着してきている

・相手の力を素直に認めることができている
・試合の挨拶を見ていると定着していると思う。
・低学年のころと比べると定着している
・相手が持っている良いところを認めるところは少しずつできているように感じる
・負けた試合でノートに対戦相手の長所を書き込んでいて驚いた。少しずつ芽生えている
・一緒に泣けたり、喜んだり、サッカーを通じて成長がつぶさに感じられる
・勝者をリスペクトし気持ちを切り替えられていると感じる。
・思いやりのある子とは言われています。
・学年があがるごとに定着してきている様な気がします。
・始めはキツい言葉が出ていたが、段々良い所の声かけやポジティブな言葉が出るようになった。
・定着していると思うがムラがある
・相手を尊重し認め思いやることが出来ていると思います。
・現時点では発展途上の段階ですが、経験を重ねる毎に成長を感じています。
・相手のプレーを上手だなと言葉に出すことが見られます

○ まだしていない・不充分

・相手チームを非難することのほうが多い
・まだ学びの途中と感じる
・主体性が足りず、試合に対する責任感が低い
・勝つ経験が少ないので、負けることに対しての前向きな気持ちの定着は今は難しい
・定着していないと感じるが、改めて子供に伝えるきっかけになったと思う
・勝者を思う余裕や他者への思いやりがまだ足りていない
・負けても腐らずに頑張ってはいますが、まだ、向上心が足りていないので、まだまだだと思います。
・負けを受け入れるのに時間はかかるが、自分に足りない部分を感じ練習に励んでいる
・敗因を客観的に分析はできるが、言い訳のほうが多いので定着には程遠いと思う
・定着はしていないが、練習や試合の日は自分の事の様に他チームも含め凄かったと話している
・定着しているとは感じませんが、これから成長していく間で定着していってほしいです。
・全くないとは言えないと思います。自分なりに気をつけている時もあるような、まだ足りないような…です。
・勝者を認めることは出来るが、負けた悔しさをまだ「力」に変えられないと感じている
・負けた試合で涙を流す場面は今でもあるが、言い訳や相手チームを悪く言う場面は減少している
・相手や味方のプレーに文句を言っているので自身のプレーの反省をしてほしい
・悔しい、できないという感情に乏しい
・挨拶以外ではまだまだだと思います
・まだ味わったことはないだろうが、いつかそう思える人になって欲しい
・負けたから次は勝ちたいとは思うが、相手を讃えられるかと言うとまだまだ
・自分のできなかったことは考えているいるが、まだ定着はしていない

○ その他

・勝ちを知って負ける悔しさがあり、初めてグッドルーザーになれる。まずは勝つ試合ができるよう努力が必要
・始めたばかりなので良くわからない
・とても素晴らしい精神だと思ったので練習や試合の中から定着していってくれたらと思う
・勝ちたい想いが強くなりすぎて、子どもの気持ちを見落としたり、傷つけてしまったりしている場面がある。
・保護者や指導者といった周りの大人が見失いがちな精神であると感じます。
・まずは自分が全力で頑張るべきだと伝えています。
・負けた時こそ本質が問われると感じる
・ノーサイドの精神ならわかる・教えている
・わかってはいるけど、自分が敗者になったときにそのように振舞えるか、これからの成長を見守っていきたい
・この精神は親子で身につけていきたい
・勝つ喜び・チームでプレーする一体感、思い出に残る大会にしてほしい
・負けた試合からたくましくなった

問7．本大会に求めることはありますか？ご自由にお書きください。

○ グッドルーザーに関して

・グッドルーザー精神について、改めて見直す機会とし、子供達の心の成長を重点に取り組みたいです。
・大会自体でグッドルーザーの精神を養い、子ども達以外に関わる大人もきちんとそれを表現してくれる大会
・グッドルーザーの精神　社会に出ても役に立つと思うので、ぜひ子供たちに教えて頂きたいです
・グッドルーザーの精神を初めて聞き知りましたが、私がスポーツを通して子供に求める事そのもので、
大会を通してよりこのような精神を育んでもらいたいです。
・グッドルーザーがどういうものか、その精神を宿したふるまいはどういったものか具体的に示せる大会
・子供への関わりや参加意義グッドルーザーの精神について考えることができ、親子の成長にとって有意義であると感じます
・勝敗に関わらず、素晴らしいグッドルーザーにスポットを当ててほしい
・グッドルーザーの精神が少しでも身につくような、大人たちも考えさせられるような大会にしてほしい

○ コロナ渦における大会に関して

・コロナ禍の中、開催して下さることに感謝します
・コロナ禍で軒並み大会が中止されています。サッカーをやれる楽しさを感じることができる大会になってほしい。
・感染対策をした安心安全な大会運営をお願いいたします
・コロナで難しいと思いますが、できるだけたくさん大会の機会をつくってほしいです。
・コロナの影響で試合をする機会が減ってしまったので、楽しく参加できるよう感染対策をしっかりしてほしい
・コロナ渦の中大変だが、大会があるとモチベーションがあがる
・皆それぞれ出来るコロナ対策をしてやっていると思うので、行事が少なくなっている中無事開催できると良いと思う
・多くのことを学べる良い機会なので、感染症対策を行ったうえで開催を楽しみにしている

○ 子どもたちの成長・プレーに関して

・人としてのレベルアップになるような経験をさせていただきたい
・参加した子供たち全員がサッカーを思いきり楽しみ、心身ともに成長できる大会
・多くの子供たちの出場機会
・成功や失敗を糧にできる体験
・技術の向上・仲間との信頼関係・サッカーの楽しさを学んでほしい
・何より子供たちが楽しくプレーできること
・子供たちの笑顔がたくさん見られる大会にしてほしい
・子供たち、コーチ、保護者が一緒になり試合を楽しめることを期待しています
・仲間と勝利を目指す強い気持ち、執着心
・一人ひとりが個性を活かし団結力とメンタルや体力面がより向上できれば良いと思います
・子供達には、大人に頼るだけでなく、子供達自身で考え、動ける「考動」を学ぶ場としたいです。
・他チームや選手、同年代の子ども達から、新しい発見、学びをし感性を養ってほしい
・チームワーク、仲間との絆をより一層深めてほしい
・子供たちが楽しくのびのびとフェアプレーができる環境をととのえて頂ければ幸いです。
・相手に敬意を払い、自分だけでなく相手を思う心など考える機会になってほしい
・現状の自己レベルを理解でき更なるレベルアップを図るための人間力の成長を図ってほしい
・お互いのチームを尊重し、高めあえるような大会にしてほしい
・個々の技能も大事だとは思いますが、みんなでやりとげた！っていう達成感を味わって欲しいと思います。
・色々なチームや選手と出会い、刺激を受け、技術だけでなく試合へ挑む姿勢や態度なども学んでほしい
・いろいろな人がいます。その時を共にした仲間、チーム、コーチみな、みんな一人一人大切にしてほしいです。
・普段戦えないチームとの交流
・精神性や道徳心を学ばせていただきたいです
・スポーツができることへの感謝・謙虚な心、友人・コーチの大切さが育つと嬉しい
・どんなことにもくじけず、諦めない心を持ってほしい
・グリーンカードがたくさん出る大会になるといいです。
・仲間と共に精一杯自分達の力をぶつけ合える場所。

○ その他

・素晴らしい基本理念なので大会を継続してほしい
・楽しみでしょうがない。子どもの成長を第一に考えて頂ける大会なので親としてありがたい
・子供だけではなく、保護者も大会を通じて成長や気づきになればと思います
・これからも親子共々成長途中の今を温かく見守っていただきたい
・初めての大会なので、楽しんでできればと思います
・大会に出られることが親子共々本当にうれしいです
・勝者ばかりでなく、敗者同士のフレンドリーマッチ等、前向きにサッカーをしていける大会にしてほしい
・アンケートの問いがアバウトすぎて大変だった。チェック形式がよい
・子ども達が全力で臨めるサッカー大会をこれからもどんどん開催してほしい
・暴言などは禁止して欲しい
・サイドコーチングをしてしまっている保護者に対して、子どもをありのまま応援する姿勢を持ってもらいたい
・子ども達との関わりについて改めて考える機会をいただけて、とてもうれしく感じています
・子供達が元気に走り回れますように
・今後の目標が見えてくるような戦いができるとよい
・MVP選出をしてほしい
・負けることが当たり前になってしまっているので、勝つ喜びを感じてほしい
・大会に出場した子供たち全員が「誇り」を感じられるように
・子どもの自主性、主体性を育む大会を目指してほしい。そこに観察力や個を認める気持ちがついてくると思う
・純粋にサッカーの試合を楽しめるような大会にしてほしい。（1日に4，5試合は最後の試合にヘトヘトです）
・子ども達と向き合う事により、コーチ・保護者も学びの機会を頂きたいと思っています。
・沢山の方々の支援や協力に感謝します
・普段戦えないチームとの交流
・精神性や道徳心を学ばせていただきたいです
・スポーツができることへの感謝・謙虚なし、友人・コーチの大切さが育つと嬉しい
・どんなことにもくじけず、諦めない心を持ってほしい
・グリーンカードがたくさん出る大会になるといいです。
・仲間と共に精一杯自分達の力をぶつけ合える場所。